



広報

なんこく

No.643



八坂神社の三番叟

10月28日、上廿枝にある八坂神社の秋の例祭式後、小学生男児1名が狩衣烏帽子を着用し、鈴を打ち鳴らしながら、当屋組青年の謡詞、合唱に合わせて三番叟をおどる。

これは、能楽（猿楽）の一種で室町時代に始まったものであるが、地芝居の幕開けに悪事を払い、家内安全を祈願して舞ったものである。

当社の三番叟は、いつから始まったものかははっきりした文献はないが、能楽の盛んであった江戸時代から残っているものと思われる。

『南国の歴史を歩く』から（南国市教育委員会 発行）

写真：植野 博仁くん（長岡小学校3年生）



人権特集	識字はみんなの宝	…	②～③
	新市議会議員の紹介	…	④～⑤
	南国市民賞、介護保険など	…	⑥～⑦
	南国市障害者計画	…	⑧～⑨
	市政モニターの提言、国体	…	⑩～⑪
	みんなの広場	…	⑫～⑬
	カメラリポート	…	⑭～⑮
	お知らせ	…	⑯～⑳
	健康文化都市・南国	…	㉒～㉓